

手術看護認定看護師 リソースナースとしての活動

実践に活かす手術体位固定を学ぼう～手術看護認定看護師と考えよう～

依頼 : 日本手術看護学会四国地区

開催場所: 松山赤十字病院

開催日時: 2019年2月23日 12:30～16:00

対象者 : 四国地区手術室看護師 120名

講師名 : 愛媛地区 手術看護認定看護師 5名

堀田 順子(松山赤十字病院) 渡部 早人(愛媛県立中央病院)

山内 洋美(松山赤十字病院) 濱本 光(十全総合病院)

西添 佐矢子(市立八幡浜総合病院)

その他 四国地区 手術看護認定看護師 7名

愛媛地区 皮膚排泄ケア認定看護師 4名

今回の研修会は、愛媛県内のリソースナースとして登録している手術看護認定看護師5名が中心となって企画・運営しました。体位固定の「技」を伝えるために、実際に手術室で体位固定器具、除圧物品などを使用し演習を行いました。参加者が看護師や患者役となることで、患者の立場に立った固定方法を考えることができました。また、皮膚排泄ケア認定看護師と協働したことで、より専門的知識と技術を習得でき、グループワークでは多施設との情報共有により学びを深めることができました。

アンケートでは、参加者全員が「満足」「ほぼ満足」と回答しており、「経験することで体位固定時のポイントを身をもって学ぶことができた」「グループワークで多施設の現状を知ることができ、自施設の課題が見つかった」など、手術看護の質の向上につながる研修会が開催できたと考えます。

研修内容

- ①講義 「手術室で起こる皮膚障害発生時の対応」
「手術体位の基礎知識」
- ②演習 「体位固定: 仰臥位 側臥位 腹臥位 載石位」
- ③グループワーク 「意見交換」

載石位



<患者体験: 体位固定の演習>